

## NOTE

# 【IP5各庁提供データベースでの 異議申立・無効審判の調べ方】

2015年6月に米国特許商標庁(USPTO)が加わったことで、「グローバル・ドシエ」のサービスを通じて、日米欧中韓(IP5)の特許出願・審査情報には1つのサービスから簡単にアクセスできるようになりました。しかしながら、グローバル・ドシエでは、収録範囲等の関係で異議申立、無効審判等の情報までは確認できない場合もあります。そのような時には、次に挙げるIP5各庁提供のデータベースを利用して必要な情報を確認することができます。

### 日本特許庁(JPO)

○異議申立又は無効審判があった特許

- (1) J-PlatPat (<https://www.j-platpat.inpit.go.jp>) にアクセス
- (2) 「経過情報」の「2.範囲指定検索」を選択
- (3) 「種別」として、審判の場合は「予告登録一覧(特許・実用新案)」、異議申立の場合は「予告登録一覧(付与後異議：特許・実用新案)」を選択
- (4) 確認したい範囲の日付を指定して検索
- (5) 一覧に表示される審判番号又は異議番号を選択して、審判情報等を確認

○異議申立の決定又は無効審判の審決

- (1) J-PlatPatにアクセス
- (2) 「審判」の「2.審決速報」を選択
- (3) ・異議申立の場合は「異議申立検索」のタブに切り替えて、「四法」は「特許」を選択  
・無効審判の場合は「当事者系審判検索」のタブに切り替えて、「審判種別」は「無効審判」、  
「四法」は「特許」を選択
- (4) 適宜、検索キーワードを入力して検索
- (5) 一覧に表示される異議番号又は審判番号を選択して、決定又は審決の内容を確認

※審決公報発行後のものは、「審判」の「1.審決公報DB」から番号(異議申立番号又は審判番号)で検索可能

※審判書類は閲覧できないため、特許庁への閲覧請求が必要

[参考：グローバル・ドシエについて]

弊所ウェブサイト・知財トピックス「日米欧中韓の特許出願・審査情報が1つのサービスから確認可能に」(2015年6月)

### 米国特許商標庁(USPTO)

○当事者系レビュー(IPR)等の審理書類

本記事初出後、2016年7月に新しいシステムへ移行されました。移行後の利用手順は下記のとおりです。

- (1) USPTOウェブサイトのPTAB E2Eページ (<http://www.uspto.gov/patents-application-process/patent-trial-and-appeal-board/patent-trial-and-appeal-board-end-end-ptab>)にアクセス
- (2) 天秤マーク付きPTAB E2Eのアイコンをクリック
- (3) 検索画面で、AIAレビュー番号、特許番号、出願番号等を使って検索  
ログイン不要(ただし、ロボットアクセスではないことを確認するための質問が表示されます)  
Derivation手続は移行前のPRPSから閲覧可能

以下、誌面の都合上、サービスのみのご紹介です。

### 欧州特許庁(EPO)

○異議申立及び審判の審理書類

European Patent Register

(<https://register.epo.org/regviewer>)

※EPO版グローバル・ドシエも提供しているデータベース

### 中国国家知識産権局(SIPO)

○無効審判の審決

PATENT REEXAMINATION BOARD OF SIPO

(<http://english.sipo-reexam.gov.cn/>)

※審理書類はSIPO版グローバル・ドシエも提供している「中国專利查詢系統(中国特許照会システム)」から確認可能(日本語版あり)

### 韓国知的財産庁(KIPO)

○無効審判の審決

KIPRIS (<http://eng.kipris.or.kr/enghome/main.jsp>)

※韓国IPG事務局(ジェトロ・ソウル事務局知財チーム)提供による日本語の「KIPRIS簡易マニュアル {審判・ファミリー編}」あり